

いなべ総合学園ソフトボール部



春季大会で優勝し、6月に津市で行われた東海大会に出場しました。県総体では惜しくも準優勝となり、インターハイの出場は逃しましたが、8月に行われる中日本総合女子ソフトボール選手権大会の出場権を獲得しました。また、森琴音さん(3年)、森本有里奈さん(3年)の2名が8月に行われるミニ国体の三重県代表チームに選抜されました。『つたわかば7月号』より



いなべ総合学園ソフトボール部

部訓 『至誠通天』 『努力は才能に優る』

目標 『夢はでっかく全国制覇！』

コンセプト 愛されるソフトボール部を目指して！

『常にこの環境に感謝』…ソフトボールを好きになる。愛着を持つ。だから道具グラウンドを大切にし、ソフトボールができる環境、やらせていただいているすべての人に感謝する。

『外見も魂の一部！』…制服やユニフォームは看板。看板に恥じない行動。

『日本一のお母ちゃんへ！』…グラウンドは修業の場！先達の声に素直に耳を傾け、自らの糧とする。『日本一の母ちゃんになる』その時のために。

『一期一会、機会を大切に』…チームの力は個人の力の集合体。奇跡の出会いを大切にし、みんなで一日一日を悔いのない生活にしよう。

活動・練習時間

放課後 3:00～6:00 朝練は自由です

土日・長期休業中は練習試合・合同練習・遠征が組まれます

休養日はおもに月曜日 1週間に1日は休養日があります。

遠征移動はソフトボール部専用マイクロバス(トヨタ コースター)を利用します。

練習内容

ランニング 静的・動的ストレッチ キャッチボールやトスバッティングなど基礎練習

守備別練習 マシンバッティング ゲーム練習 補強運動 など

活動場所

本校にはソフトボール専用のグラウンドがあります。(夜間照明灯2基)

いなべ総合学園ソフトボール部の戦績

平成13年度 県総体初ベスト8

平成14年度 県総体 5位

平成15年度 県総体 2回戦敗退

	春季大会	県総体	秋季選手権	新人大会
平成16年度	5位	5位	5位	3位
平成17年度	3位	5位	5位	5位
平成18年度	5位	5位	5位	5位
平成19年度	3位	3位	3位	3位

平成20年度	3位	4位	3位	3位
平成21年度	3位	3位	2回戦敗退	準優勝 全国選抜 東海新人出場
平成22年度	5位	5位	5位	2回戦敗退
平成23年度	5位	5位	5位	5位
平成24年度	5位	5位	3位	3位
平成25年度	3位	3位	準優勝	2回戦敗退
平成26年度	2回戦敗退	5位	2回戦敗退	5位
平成27年度	5位	5位	準優勝	準優勝 東海新人出場
平成28年度	3位	3位	準決勝進出 天候不順で打ち切り	準優勝 東海新人出場
平成29年度	優勝 東海総体出場	準優勝 中日本大会出場		

主な進路先

主な進学先

岐阜大学 名城大学 愛知淑徳大学 皇学館大学 東海学園大学 至学館大学
 星城大学 岐阜経済大学 中京学院大学 高田短期大学 修文短期大学 愛知学泉大学
 甲賀健康医療専門学校 桑名医師会看護学校

主な就職先

デンソー大安工場 トヨタ車体員弁工場 三重精機 あづま食品三重工場
 きもと三重工場 河村産業(株) 近鉄百貨店 四日市都ホテル NTTドコモショップ

至誠通天2016 いなべ総合学園高等学校

ソフトボール部通信 第8号 平成28年5月27日

チャンスはいつもそばにある

「自分が劣勢の時には、ねばりにねばって、なんとか一手違いにまで追いついておこうと努める。そうしておけば、逆転のチャンスがいつもひそんでいるからだ」と将棋の鬼と呼ばれた升田幸三九段はいつている。

野球の試合でも、一発の「さよならホームラン」で胸のすくような逆転勝ちの場面がある。それは最後まで望みを失わず、勝負を投げないで、ねばり抜いた根性のたまものだ。

幕末の学者、春日潜庵は、「いかに弱き人といえども、その全力をひとつの目的に集中すれば必ずその事を成し得べし」といつて後輩を激励している。やることなすことうまくいかない。スランプの時。確かに人には波がある。調子のいいときもあり悪いときもある。しかし、スランプだからといいつて、希望を捨てる理由などない。雨の後には必ず晴天がある。永遠に雨が降ることはないのだから。

「災難にあう時節には災難にあうがよく候。死ぬる時節には死ぬがよく候。これはこれ災難をのがるる妙法にて候」と名僧である良寛はいつている。災難にあったからくさってしまう。病気になったからヤケになる。…人生望みを捨ててしまったら、局面打開のきっかけもつかめまない、何の解決策も生まれてこない。どんな有名人も一度の挫折に腐っていたらなんにもならず、全てを失っていたことだろう。

天才ゴルファーのボビー・ジョーンズは「人は敗れたゲームから教訓を学び取るものである。私は勝ったゲームから、まだなにも教えられたことがない」といつている。

そうなのだ！「チャンスはいつも側にひそんでいる」それをつかむかどうかは君たち次第なのだ！